

マタニティヨガのご案内

~安産に向けて身体をリラックスしましょう~

参加費無料
要予約

対象 妊娠16週以上の妊婦さん
当院に通院されている方だけではなく他院に通院されている方でも、出産まで何度も参加できます。

申込み 加賀市医療センター 産婦人科外来
TEL.0761-72-1188(代)
(申込受付時間/平日 14:00~16:00)

日時 毎月 第4金曜日 14:00~16:00

場所 加賀市医療センター 2階 KMCホール
14:00までに1階総合案内横にお集まりください。

Column

アートインホスピタル -vol.8-



病院の中には美術品が沢山あります。寄贈されたものがほとんどで、患者さんや職員を和ませています。廊下は美術館のようです。是非とも作品も鑑賞していただきたいと思います。

(担当:病院長 北井隆平)

タイトル Life/長谷川 宏美氏 (2階中央エレベーター前)

この絵はキュビズムの影響を受けていると作者から解説をいただきました。キュビズムはピカソに代表される絵画で、対象を幾何学的な形に分解し、様々な角度から一つの画面に再構成すると書いてあります。ピカソの絵も難解ですが、この絵に対峙してタイトルLife(人生)を心に置いて感じてみました。4分割された絵は右から幼児期、青春期、成熟期、老年期として、人生の様々な場面を現しているのではないかと思いました。4分割のうち、右の2枚の絵は時相が少し異なり幼年から青春への時間の流れを、そして葉が色づき始め、栄養(人生の栄養なら教養か?)を溜め込むフラスコの花瓶が置かれる。成熟期にはその一杯になった教養のフラスコから真っ赤な花を咲かせる。そんな大人を幼子が見つめている。モデルは姪っ子さんとのことです。大人の振る舞いは幼子から常に見本にされていることを自覚させられます。次いで左端の暗く色を失った老年期に至る。

解説は勝手に書いており、作者の意図したLifeの捉え方とは異なるかも知れません。絵のタイトルが無ければ、ピカソの青の時代に影響された抽象画で、人と植物と物体の習作と見たでしょう。4分割された長さを見ると、やはり人生のとある期間を表しているような気がします。この絵の前のあなたは人生のどの時期にいるのでしょうか?幼子からの視線は大人として後生からの視線に堪えられているのかと自問させられます。解説を書くにあたりキュビズム絵画で画面分割された類似の絵を探してみましたが、同様の手法の絵がほとんどありませんでした。さらに発展された絵も見つかりました。

(油絵 長谷川 宏美 2015年 加賀市美術協会)



栄養室より

加賀市医療センターでご出産されたお母さんにお祝いの気持ちを込めて『お祝いディナー』や『地元のおやつ』を提供しています。嬉しいコメントを多数いただき大好評です。



産婦さんの声
ご当地スイーツを食べる機会がなかったので嬉しかった

豪華な盛り付けで心もお腹もいっぱいになりました
大満足でした

基本理念

「おもいやり」
私たちは、市民とともに、市民中心の医療を提供し、市民の健康を守ります



加賀市医療センター
公式 Instagram

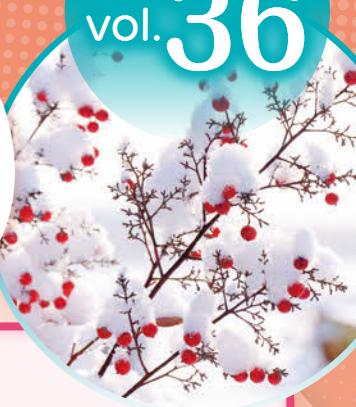
フォロー
お願いします!

基本方針

1. 信頼される最適な医療を提供します
2. 救急搬送はことわらず受け入れます
3. 将来を担う優れた医療人を育成します
4. 地域に根付いた医療を実践します

加賀市医療センター広報誌

おもしやり



加賀市で唯一の分娩施設として、地域に根ざした周産期医療を提供。里帰り分娩にも対応。

周産期医療 とは

「周産期」とは妊娠22週から生後1週間未満の期間のことをいいます。周産期の母子は生命に関わる事態が発生する可能性があり、この期間の突発的な緊急事態に備えて、産科・小児科双方から一貫した総合医療体制が必要です。(当院は周産期の時期以外のケアも行っております)

安心安全なお産ができる設備環境

産婦人科医師3名(1名非常勤)、助産師13名(うちアドバンス助産師7人)を中心に赤ちゃんとお母さんをトータルサポートします。また助産師全員がNCPR(新生児蘇生術)の資格を有しており、赤ちゃんの安全も守れるよう訓練しています。院内の専門医と連携し、合併症妊娠にも対応しています。アドバンス助産師とは…妊娠褥婦や新生児に対し、自律して標準的な助産ケアを安全・安心に提供できる高度な知識と技術を持つ能力が客観的に評価されている専門助産師のことです。



LDR室

陣痛・分娩・回復を移動することなく
1つの部屋で行えます

専門スタッフ

産科・小児科双方から一貫した
総合的な医療体制が整っています

セキュリティ

お母さんの十分な療養の場と
赤ちゃんにとって安全な環境を提供

里帰り出産対応

その地域から継続した
対応ができます

助産師が院内で24時間勤務体制なので安心!

立ち会い分娩ができます!

その他、子宮筋腫・卵巣腫瘍などの良性疾患の手術や、生理不順・更年期などの女性ヘルスケア全般に幅広く対応しています。不妊については検査や薬を使った一般的な不妊治療を実施しています。

3東病棟について



日々、新しい命の輝きに元気をもらっています

産婦人科のある3東病棟は、整形外科と内科、産婦人科を中心に全科の患者さんを受け入れている急性期病棟で、多職種と連携し合い看護を行っています。出産には経験豊富な助産師が対応し産前産後のフォローをしており、乳児と母体のケアなど相談対応しています。産科では新しい命が誕生し、一般病棟では様々な方が入院し自分の健康を取り戻して地域に帰られています。そんな毎日の中で、人が生まれ、生きていく命の輝きを肌で感じながら働いています。

ご出産された方のそれぞれの背景に合わせた母乳育児支援を行っています。入院中はお母さんの体調や赤ちゃんの状態に合わせた育児や授乳の指導を行い、自信を持って楽しく育児できるように支援します。希望者は母児同室も行えます。母乳のこと、育児のことなど、心配なことがあればいつでもご相談ください。



LDRについて

LDRとは、Labor(陣痛)、Delivery(分娩)、Recovery(回復)を略したもので

陣痛室、分娩室、回復室が1つとなったLDR室で、妊婦さんは移動することなく、1つの部屋で出産することができます。



LDR内では分娩進行中の写真・動画撮影はご遠慮いただいておりますが、赤ちゃんがお母さんに抱っこされてからは、写真・動画撮影は可能です。

インファント
ウォーマーとは
分娩直後の新生児の体温低下を防ぎ、適切な体温(恒温)を維持するための医療機器で、開放型の温かい診察台(保育器)です。赤外線などの輻射熱で赤ちゃんを温め、体重測定、処置、酸素投与、蘇生処置など、誕生直後の観察やケアをスムーズに行うために使われます。

セキュリティエリアについて

加賀市医療センターは、周産期エリアにセキュリティを設け、面会を制限することで、出産される、または出産を終えたお母さんの十分な休息と安静のための静かな療養の場と、生まれた赤ちゃんにとって安全な環境を提供できるようにつとめています。



病室について



室料差額について

加賀市医療センターでは、全ての病室を個室としています(特別個室はありません)。全室、室料差額(差額ベッド料)はいただけません。

病室にはトイレ付きのユニットシャワー、洗面台を設けており、空調についても個々の部屋で冷暖房の切り替えができます。窓もベッドに横たわったままで外が見られる高さにしています。プライバシーを守りながら安心して療養いただける環境を提供しています。

産婦人科

お母さんと赤ちゃん、 ふたりの命を守る



医員

鈴木 香月 【すずき かづき】専門・
得意分野

● 産婦人科一般

診療で大切にしていること

診療では、患者さんの気持ちに寄り添うことを特に大切にしています。産婦人科はどうしても抵抗を感じやすい科だと思います。だからこそ、女性同士だからこそわき合える部分を大切にして、できるだけ苦痛が少なくなるように、丁寧に対応することを心がけています。特に若い方は、診察に来るだけでも緊張されていると思います。私は年齢的にも比較的近いので、少しでもリラックスしてもらえるような雰囲気づくりを意識しています。

地域で安心してお産ができる場所を

診療の中で特に力を入れているのは、産科です。加賀市で唯一お産ができる病院として、地域の妊婦さんたちを支えることに責任を感じています。当院は総合病院なので、産科専門のクリニックとは異なり、他科の医師と連携しながら、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病などの合併症がある妊婦さんの対応も可能です。大学病院とも連携していて、より専門的な医療が必要な場合にはスムーズに紹介できる体制も整っています。

妊婦さんにやさしい設備と安心の体制

当院の産科の魅力の1つに、陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)を1つの部屋で行えるLDR室を2室備えている点が挙げられます。出産時に部屋を移動することなく過ごしていただけるため、身体的な負担を減らすことができます。入院するお部屋もすべて個室で、プライバシーに配慮した設計となっています。さらに、産婦人科の入院病棟にはセキュリティもかかっており、他の患者さんが自由に入り出うことのない安心できる環境です。

幅広い世代の女性に対応する婦人科診療

当院の産婦人科外来婦人科では、毎日必ず女性医師が担当しています。婦人科診療では、良性疾患に対する手術にも力を入れています。不妊治療についても、子宮卵管造影などの一般的な検査を行っていますし、生理に関するお悩みや更年期障害、性感染症など、女性のヘルスケア全般に幅広く対応しています。困ったときに気軽に相談してもらえるような存在でありたいと思っています。

地域の女性に寄り添う産婦人科として

最後に、地域に根ざした病院として、加賀市医療センターの産婦人科も皆さんにとって、もっと身近な存在になれるよう努力していきたいと思っています。年齢ごとに異なる悩みを抱える女性の皆さんに対して、当院では幅広い診療を提供していますし、他科との連携が可能な総合病院であることも大きな強みです。お産や里帰り出産についても、どうぞお気軽にご相談ください。

小児科

多角的な視点で 病気を見つめる、 こどもを守る



医長

村岡 正裕 【むらおか まさひろ】専門・
得意分野

● 小児科一般

● アレルギー疾患

「こども」と「御家族」両方にとっての最善を探す

こども達にとって最善の治療を選択していただけるように、御家族への説明を丁寧に、同じ事でも繰り返してお話しするように心掛けています。時に、こども達にとってはベストでも、ケアする御家族にとっては難しかったり、負担が過ぎたりすることもあり、そうなると巡り巡ってこども達のためにならない、ということも起こります。御家族の希望や利便さなども可能な限り考慮にいれて、その上で1番いい治療や検査の選択肢を提供していくかと思っています。また、お薬を処方するにあたっては、最小限に留めつつ、各々のお薬の意味をご理解いただけるよう努めています。

つなぐ、まもる小児医療

一般小児科としては加賀市内で唯一の入院できる施設、出産できる施設として、その役割を果たすべく近隣の小児科の先生方や当院産婦人科の先生方との連携を大切にしています。また、採血検査や尿検査、細菌培養検査、CT、MRI、エコー検査、脳波検査など、一般的に必要とされる検査はすべて当院で随時施行可能です。オールラウンドにお子さんを診察し、必要なお子さんに関しては当院で入院治療をさせていただくと同時に適宜、高次治療が可能な小松市民病院や金沢エリアの連携病院への紹介も検討します。

温かく和やかな雰囲気で丁寧な診察を

紹介受診重点医療機関としての当院の性質上、予約外の飛び込み受診が比較的少ない分、一人一人のお子さんに対して丁寧に診察させていただければ当院小児科の大きな魅力だと思います。設備面では、広々とした外来待合室があるほか、健診等で来院されたお子さんが感染症のお子さんと同じ空間でお待ちいただくことがないよう配慮された待合スペースもあります。

また、外来、病棟ともに、こどもが好きな優しい看護師さんが多く、お陰様で温かく和やかな雰囲気で診療させてもらえることは、小児科医としてとても有難く思っています。

こどもの今と未来のために

小児科で担当する新生児から中学生までのお子さんは、身体的にも精神的にも人生の中で最も変化のある年代であると同時に、この地域、ひいては世界の未来を担う貴重な方々です。成長していくにあたって何かとトラブルはつきものですが、それが重篤な病気や怪我にならぬよう、小児科がお手伝いできたら幸いです。軽症であれば通院で軽快することが多いものの、時にはしつこくなったり、急に酷くなったりするのがこどもの病気です。ご心配なときは、当院小児科へお気軽にご相談ください。